

# オーストリア情勢月報

(2026年5月)

1. 主要経済指標
2. 政党支持率
3. 経済情勢
4. 内外政・社会情勢

在オーストリア日本国大使館

(注) 情報の信頼性には注意を払っておりますが、出典の正確性を保証するものではありません。また、営利目的での使用、無断転載はお断りいたします。

## 1. 主要経済指標

## (1) オーストリア

	2025年	2025年						2026年						出典 (単位)	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
実質 GDP 成長率	0.6	1.1 [0.3]			0.7 [0.0]			0.6 [0.2] *						1(a, b)	
労働	標準賃金指数	139.6	139.9	139.9	139.9	139.9	140.1	140.2	141.6	141.6	141.7	142.1			1(c)
	失業率 (ILO 基準)	5.7	5.6	6.0	5.6	5.8	5.9	5.8	5.6	5.9	5.7	5.7			2(a)
消費	小売売上高指数 (自動車除く)	116.6	118.4	112.5	115.9	123.5	115.9	135.2	108.1	104.1					1(d)
	自動車売上高指数	119.5	133.9	105.7	122.5	136.9	121.9	105.7	101.2	113.1					1(d)
企業	生産指数	102.8	107.6	92.9	107.7	109.3	109.8	107.1	87.3	94.6					1(d)
	製造業景況指数	-4	-8			14			8						3(e)
	破産件数	6,857	1,610			1,747			1,687						4(f)
国外	貿易収支 (通関ベース)	-66*	-18.9*	-19.0*	-2.3*	-1.0*	-3.5*	-13.0*	-0.7*	3.4*					2(g)
	輸出	1,901*	151*	119*	166*	175*	164*	144*	151*	162*					2(g)
	輸入	1,967*	170*	138*	168*	176*	168*	157*	151*	158*					2(g)
	経常収支	95.5	10.1			26.7									5(g)
	外国人旅行客数	3,350	395	443	277	214	141	320	325	322	241				2(h)
	日本人旅行客数 ウィーン州の日本人旅行客数	12.5 8.7	1.1 0.6	1.5 1.0	1.4 0.9	1.1 0.8	0.8 0.6	1.3 1.0	0.6 0.4	1.0 0.7	1.1 0.8				2(h) 6(h)
物価	消費者物価指数 (CPI) 上昇率	3.6	3.6	4.1	4.0	4.0	4.0	3.8	2.0	2.2	3.2	3.4			2(a, b)

出典：1. オーストリア経済研究所 (<https://www.wifo.ac.at>)、2. オーストリア統計局 (<https://www.statistik.at>)、3. オーストリア産業連盟 (<https://www.iv.at>)、  
4. オーストリア融資保護連盟 (<https://www.ksv.at>)、5. オーストリア国立銀行 (<https://www.oenb.at>)、6. ウィーン観光局 (<https://b2b.wien.info/de>)

(単位)：(a) %、(b) 前年同期比 (括弧内は前期比)、(c) 2016年を100とした値、(d) 2021年を100とした値、(e) 「良いという回答の割合」 - 「悪いという回答の割合」、(f) 件、(g) 億ユーロ、(h) 万人

\*暫定値

(2) 中・東欧

(注1) CPI：消費者物価指数  
 (注2) 実質 GDP 成長率と CPI 上昇率は前年比  
 (注3) 2026年と2027年は予測値

**チェコ** <https://wiiw.ac.at/czechia-overview-ce-5.html>

	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	2.6%	2.2%	2.5%
CPI 上昇率	2.3%	2.7%	2.4%
失業率	2.8%	3.1%	3.1%

**ポーランド** <https://wiiw.ac.at/poland-overview-ce-8.html>

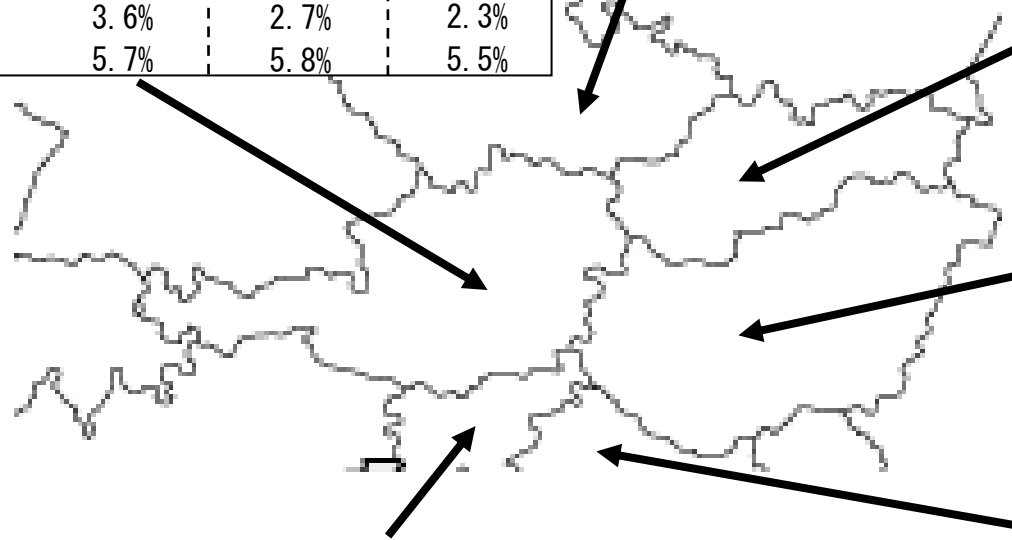
	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	3.6%	3.6%	2.6%
CPI 上昇率	3.3%	3.5%	3.7%
失業率	3.1%	3.1%	3.0%

**オーストリア** <https://www.wifo.ac.at/daten/wifo-wirtschaftsdaten>

	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	0.6%	0.9%	1.3%
CPI 上昇率	3.6%	2.7%	2.3%
失業率	5.7%	5.8%	5.5%

**スロバキア** <https://wiiw.ac.at/slovakia-overview-ce-12.html>

	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	0.8%	0.5%	1.6%
CPI 上昇率	4.2%	4.0%	3.5%
失業率	5.4%	5.8%	5.8%



**ハンガリー** <https://wiiw.ac.at/hungary-overview-ce-6.html>

	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	0.5%	1.6%	1.8%
CPI 上昇率	4.4%	4.0%	3.6%
失業率	4.4%	4.3%	4.2%

**クロアチア** <https://wiiw.ac.at/croatia-overview-ce-4.html>

	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	3.4%	2.6%	2.7%
CPI 上昇率	4.4%	3.5%	2.8%
失業率	4.9%	4.8%	4.8%

**スロベニア** <https://wiiw.ac.at/slovenia-overview-ce-13.html>

	2025年	2026年	2027年
実質 GDP 成長率	1.1%	1.7%	2.4%
CPI 上昇率	2.5%	3.0%	2.3%
失業率	3.9%	3.8%	3.6%

## 2. 政党支持率

### (1) 国民議会選挙を仮想した支持政党

	2024年	2025年							2026年				
	国民議会選挙得票率	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
自由党	28.8%	33%	37%	35%	36%	38%	38%	38%	36%	36%	36%	38%	38%
国民党*	26.3%	22%	19%	22%	21%	20%	19%	18%	20%	22%	21%	20%	21%
社民党*	21.1%	20%	20%	20%	19%	17%	18%	18%	18%	16%	18%	18%	18%
NEOS*	9.1%	11%	9%	10%	9%	8%	10%	9%	8%	9%	7%	7%	8%
緑の党	8.2%	10%	10%	9%	10%	11%	10%	11%	10%	10%	11%	11%	10%

### (2) 首相適任者として支持する政治家

	2025年							2026年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
キクル自由党党首	—	—	30%	31%	31%	31%	33%	31%	32%	32%	32%	32%	32%
シュトッカー国民党党首（首相）*	—	—	13%	13%	13%	10%	12%	15%	13%	12%	14%	14%	16%
バブラー社民党党首（副首相）*	—	—	10%	9%	10%	9%	9%	9%	7%	9%	9%	9%	8%
マイル＝ライジンガーNEOS党首*	—	—	10%	6%	7%	8%	7%	7%	8%	6%	7%	7%	7%
ゲヴェスラー緑の党党首	—	—	7%	6%	6%	7%	6%	7%	7%	8%	7%	7%	7%

\*与党

出典：エスタライヒ紙 (<https://www.oe24.at/oesterreich/politik/umfragen>)

### 3. 経済情勢

#### (1) オーストリア

##### ①「オーストリア政府がウクライナ避難民の自家用車に対する特別措置廃止を閣議決定」

5月13日、オーストリア政府は一連の道路交通法改正を閣議決定した。その柱は車検のインターバル変更であり、現行、自家用車の車検は新規登録から3年後及び5年後に実施し、以降、1年毎に実施することを義務付けているが、将来的に新規登録から4年後、6年後、8年後、10年後に実施し、以降、1年毎に実施することを義務付ける。2027年1月からの施行を目指す。また、ウクライナからの避難民が所有するウクライナ・ナンバーの自家用車に対しては、特別措置としてオーストリアでの登録が免除され、車検、規格消費税、保険税が課されていないが、この特別措置を廃止し、2026年6月30日以降に持ち込まれた自家用車については2026年12月31日、2026年6月30日までに持ち込まれた自家用車については2027年6月30日までにオーストリアでの登録を義務付ける。

◆関連リンク：<https://kurier.at/politik/inland/ukraine-kennzeichen-alexander-proell-suv-nova-ukraine-kennzeichen-neue-frist-2027/403159606>

各紙(13日付)

##### ②「4月に中東・アジアからウィーン州への観光客数が減少」

ウィーン観光局の発表によると、4月のウィーン州の旅行客数は前年同月比0.6%減の約71万人(旅行客宿泊数は同4.1%減の約172万泊)にとどまった。主に中東・アジアからの旅行客が軒並み減少したことに起因する。日本人は旅行客数が同3.4%減の4,777人、旅行客宿泊数が同11.3%減の10,389泊。また、ウィーン空港公社の発表によると、ウィーン空港の4月の乗降客数も主に中東便の減少に伴い、同8.2%減の約260万人にとどまった。

◆関連リンク：<https://b2b.wien.info/de/newsroom/corporate-news/statistik-april-2026-1123504>

ウィーン観光局、ウィーン空港公社(14日、26日付)

##### ③「オーストリア国民議会が基礎食料品の一部に対する付加価値税の引き下げを可決」

オーストリア政府は1月28日に基礎食料品の一部に対する付加価値税の引き下げを閣議決定していたが、オーストリア国民議会は5月21日にこれを可決した。7月1日から実施される。対象となる食料品は牛乳、バター、卵、パン、小麦、パスタ、米、主要な野菜・果物等で、税率は10%から4.9%に引き下げられる。政府の試算によると、この措置により世帯当たり年間100ユーロの負担が軽減され、インフレ率が0.1~0.2ポイント引き下げられる。他方、この措置による年間約4億ユーロの減収の代替財源として、政府は第三国からの小包に対する課税強化及びリサイクル不可のプラスチックに対する課税を計画していたが、国内で配達される小包への課税に切り替えた。

◆関連リンク：[https://www.parlament.gv.at/aktuelles/pk/jahr\\_2026/pk0448](https://www.parlament.gv.at/aktuelles/pk/jahr_2026/pk0448)

オーストリア議会(21日付)

(2) 中・東欧

① 「オーストリアが西バルカン諸国の欧州域内市場への部分的統合を可能にするためのイニシアチブを推進」

5月12日、マインル＝ライジンガー・オーストリア外相は、スロバキア・ブラチスラバで開催された「西バルカン有志友好国（Friends of the Western Balkans）と西バルカン6か国」の外相会合に出席した。「西バルカン有志友好国」は西バルカン諸国のEU加盟プロセスを推進することを目的として2023年にオーストリアのイニシアチブにより設立され、オーストリア、チェコ、スロバキア、スロベニア、クロアチア、イタリア、ギリシャが加盟している。今回の会合にはコス・EU拡大担当欧州委員も参加した。会合の中でマインル＝ライジンガー外相は、西バルカン諸国の欧州域内市場への部分的統合を提案する文書を提示した。同外相によると、アルバニア、モンテネグロ、セルビア、モルドバは既に単一ユーロ決済圏（SEPA）に参加しており、同様に西バルカン諸国が分野毎に欧州域内市場に参加することにより、加盟候補国の改革努力を評価し、加盟候補国国民がその恩恵を感じるというポジティブな効果を生み出すシステムが構築される。なお、EU政策を専門にする情報誌であるEURACTIVによると、オーストリア、チェコ、スロバキア、スロベニア、イタリアの5か国は欧州委員会、特にコス欧州委員に対して、西バルカン諸国のEU加盟プロセスに係る戦略を再検討し、加盟候補国の改革状況に応じて、交通、エネルギー、デジタル、競争、重要資源などの分野で部分的に欧州域内市場への参加を可能にするよう要請した。

◆ 関連リンク：[https://www.bmeia.gv.at/ministerium/presse/aktuelles/alle/muster\\_jahr/05-1-1/mehr-tempo-fuer-den-eu-beitrittsprozess-des-westbalkans-meinl-reisinger-legt-reformpapier-zur-eu-integration-in-etappen-vor](https://www.bmeia.gv.at/ministerium/presse/aktuelles/alle/muster_jahr/05-1-1/mehr-tempo-fuer-den-eu-beitrittsprozess-des-westbalkans-meinl-reisinger-legt-reformpapier-zur-eu-integration-in-etappen-vor)  
オーストリア外務省、スタンダード紙（12日、20日付）

② 「オーストリアがハンガリー政権交代を機に中欧の連携強化を提唱」

5月21日、シュトッカー・オーストリア首相はウィーンでマジャル・ハンガリー新首相と会談した。会談に際して、シュトッカー首相は「ハンガリー国民が絶対的過半数により閉鎖的な政策を拒否し、親欧州的な開かれた未来を選択した」とマジャル首相の選挙戦勝利を祝福するとともに、「オーストリアとハンガリーが建設的で信頼に満ちた関係に戻れることを確信しており、両国は新たな時代の構築を開始する」旨抱負を述べた。両首相は、両国の協力関係を強化し、西バルカン諸国へのEU拡大など両国が関心を共有する具体的なプロジェクトを迅速に軌道に乗せることで合意した。また、翌22日にシュトッカー首相はヴァッハウ・ヨーロッパフォーラムでのスピーチの中で、「オーストリアはハンガリー、チェコ、スロバキア、ポーランド、スロベニア、クロアチア、ルーマニア、ブルガリアと共にEU内で同盟を形成し、中欧地域の影響力を強める計画を有しており、特にポーランドに協力要請を働きかける」ことを明らかにした。

◆ 関連リンク：<https://www.bundeskanzleramt.gv.at/bundeskanzleramt/nachrichten-der-bundesregierung/2026/05/bundeskanzler-stocker-empfang-den-ungarischen-ministerpraesidenten-magyar.html>

オーストリア首相府、プレス紙（21日、22日付）

#### 4. 内外政・社会情勢

##### ①「暴力による侵入・接近禁止措置発動件数が2025年も高いレベルを維持」

オーストリアで男性による女性への暴力が社会問題化する中、オーストリア政府は暴力防止を政府プログラムの中の重要な政策として位置付け、その防止対策に尽力している。治安警察法に基づき、治安当局が被害者の生命、健康、自由を脅かす恐れがあると判断した場合、同居する危険人物に対して、住居への侵入及び被害者への接近を禁止する措置がとられ、暴力防止カウンセリングへの参加が義務付けられているが、侵入・接近禁止措置発動件数は2024年の1万4,583件から2025年に1万4,101件へと僅かに減少した。ただし、この数字は依然として高いレベルで、オーストリア政府によると、オーストリアに居住する女性の3人に1人が生涯に少なくとも一度は暴力の被害を受けている。

◆関連リンク：<https://www.bundeskriminalamt.at/newsc044.html?id=53316e616f74425a5343633d>

オーストリア内務省（1日付）

##### ②「2025年にオーストリアにおける極右犯罪件数が大幅に増加」

5月4日、オーストリア内務省は憲法擁護報告書を発表した。同発表によると、イスラム過激主義はオーストリア国民にとって依然として最大の脅威となっており、国際テロ組織がオーストリアを含む欧州でテロを呼びかけ、過激化した人物が中東及びアフリカのイスラム諸国に出国する動きが益々活発になっている。その際、オーストリア憲法擁護局は主に若者を標的として、過激化を扇動する複数のネットワークの存在を確認した。このため、過激派の犯罪は顕著に若年化及びデジタル化しているのが特徴である。その際、極右犯罪の認知件数は前年比33.6%増の1,968件（逮捕者75人、家宅捜索277件）を記録し、極左犯罪の認知件数は同36.4%減の136件（逮捕者24人、家宅捜索6件）にとどまっている。オーストリアでのテロの危険レベルは「高」となっている。

◆関連リンク：<https://www.bmi.gv.at/news4c8c.html?id=51326d6a3669786c3674773d>

オーストリア内務省（4日付）

##### ③「ウィーン市公立中学校の生徒の約半数がイスラム教徒」

ウィーン市教育委員会の調査によると、義務教育となっているウィーン市の公立学校（小学校及び中学校）の生徒に占めるイスラム教徒の割合は年々増加し、2025年度に約42%に達し、約33%のキリスト教徒（カトリック教徒、正教徒、プロテスタント）を大きく上回っていることが明らかになった。無宗教者の割合は約23%。その際、中学校の生徒に占めるイスラム教徒の割合は約50%に達している。他方、私立学校を含めたウィーン市の学校（小学校及び中学校）の場合はイスラム教徒が約38%、キリスト教徒が約35%、無宗教者が約23%となっている。ギムナジウムは統計対象から除外されている。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/21625702/neue-zahlen-zu-wiener-schulen-mehr-muslime-weniger-christen>

各紙（5日付）

##### ④「オーストリアとウズベキスタンが移民・モビリティに関するパートナーシップを締結」

5月7日、マインル＝ライジナー・オーストリア外相とカルナー・オーストリア内相はウズベキスタンを訪問し、ミルジヨーエフ・ウズベキスタン大統領

領、サイドフ・ウズベキスタン外相らと会談した。会談に際して、オーストリアとウズベキスタンは移民・モビリティに関するパートナーシップを締結した。同パートナーシップに基づき、オーストリアがウズベキスタンから技能労働者を合法的に受け入れ、また、ウズベキスタンからの不法滞在者を送還する枠組みが構築される。また、両国は外交官の査証免除協定と租税条約改定に調印した。

◆関連リンク：<https://www.bmi.gv.at/newsda41.html?id=2f6c315358343658736d633d>

オーストリア内務省、オーストリア外務省(7日付)

⑤「オーストリア政府がオーストリア人のナチズムへの加担を改めて強調」

5月8日のヨーロッパ終戦記念日にオーストリア首相府はナチズムからの解放を想起するプレスリリースを発売した。同プレスリリースの中で「多くのオーストリア人はナチズムの時代に加害者であった」と加害者としての認識が改めて明確に示され、「オーストリア人のナチズムへの責任が封じられた長い時間を経て、政府はこれと向き合う最後の段階に着手する」ことが宣言された。また、シュトッカー・オーストリア首相は「第二次世界大戦の終焉はオーストリアにナチズムからの解放をもたらしたが、ナチズムのシステムには多くのオーストリア人が加担した」旨強調した。

◆関連リンク：<https://www.bundestkanzleramt.gv.at/bundestkanzleramt/nachrichten-der-bundesregierung/2026/05/bundesregierung-gedenkt-der-befreiung-vom-nationalsozialismus.html>

オーストリア首相府(8日付)

⑥「オーストリアにおける出生数が2025年に25年来の最低値を記録」

オーストリア統計局の発表によると、オーストリアにおける2025年の出生数は前年比1.5%減の7万6,067人で2001年以来の最低値を記録した。2001年は7万5,458人であったが、当時の人口は今より100万人以上少なかったことを考慮する必要がある。その際、出生数が若干増加したのはザルツブルク州とケルンテン州のみで、他の全ての州で減少した。また、2025年の死亡者数は同0.7%減の8万7,902人であった。これにより、6年連続で死亡者数が出生数を上回った。出生数が死亡者数を上回ったのはウィーン州とフォアアルベルク州のみであった。

◆関連リンク：<https://www.statistik.at/fileadmin/announcement/2026/05/20260522Geburtenbilanz2025.pdf>

オーストリア統計局(22日付)

(以上)